



「長万部高校に関する地域懇談会」Topics

282～286号では、本校の「教員＆授業特集」を掲載いたしました。11～12月号では、10月28日（火）に開催いたしました「令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会」で町民の方々からいただいたご意見をまとめた内容を、高校の視点から特集号として掲載いたします。

令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会

～地域とともに考える「魅力ある高校づくり」～

令和7年10月28日（火）17時45分から19時45分まで、長万部町福祉センター講堂において、「令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会」が開催されました。

本懇談会は、地域の方々に長万部高校の現状や取組について広く理解してもらうとともに、意見交換をとおして今後の高校の在り方を共に考え、魅力ある高校づくりにつなげることを目的として行われたものです。

当日は、長万部町及び近隣町の小・中学校関係者（教職員、PTA）、長万部町内の関係団体、長万部高校の教職員やPTA、同窓会、学校運営協議会委員、そして地域住民など、約120名が参加しました。



第二部の協議では、「現状を踏まえた地域における長万部高校の在り方」「新入学生を増加させるために必要なこと」などをテーマに、活発な意見交換が行われました。参加者からは、地域と学校が連携して魅力を発信していく方策や、教育活動の特色化に関する具体的な提案が寄せられました。

最後に質疑応答を経て、今後も地域とともに長万部高校の魅力向上を図っていくことを確認し、19時45分に閉会しました。

[（※北海道長万部高校ホームページに掲載しています。）](#)



【現状】長万部高校の現状に関する町民意見

1 概要について

本まとめは、町民から寄せられた「長万部高校の現状」に関する意見を整理し、現状課題及び今後の方向性を検討するための基礎資料として取りまとめたものです。意見は、地域懇談会において収集したものであり、町民の幅広い視点から現状認識や課題意識を抽出し、次の6点にまとめました。

2 意見の主な傾向について

（1）少子化・人口減少による生徒数の減少について

町民の多くが、生徒数減少の背景として少子化と町人口の減少を挙げています。「子どもの数自体が少ないため、高校だけでの対応には限界がある」との意見が多く、教育環境の問題というよりも、地域全体の構造的課題として受け止められています。また、「一人当たりの教育投資が増え、町外進学が選ばれやすくなった」との見方もみられます。

（2）部活動の少なさと学校生活の魅力不足について



最も多く寄せられた意見は、部活動の選択肢が少ないことでした。特に、野球・サッカーなど、他校で一般的に設置されている部活動がないことが、町外進学を選ぶ大きな要因とされています。町民からは「やりたい活動ができない」「部活のために他校へ行く」という具体的な声が多く、小規模校ゆえの制約を指摘する意見が目立ちました。一方で、「限られた環境の中でも特色ある活動を打ち出す工夫が必要」との建設的な提案もみられました。

（3）人間関係や環境への課題意識について

小・中学校をとおして同じ顔ぶれで過ごすことにより、新しい人間関係や刺激を求めて町外へ進学する傾向が強いことが指摘されました。「環境を変えたい」「人間関係をリセットしたい」といった意見も多く、長年同一コミュニティで過ごすことへの息苦しさを感じる声もありました。この傾向は特に中学生や保護者の世代に強く見られました。

（4）高校及び町の情報発信不足について

「長万部高校の良さが伝わっていない」「取り組みや進学実績が知られていない」との意見が多く、広報力の不足が課題として挙げられました。町内中学校や保護者等に対し、学校の特色・推薦枠・地域活動等の情報が十分に届いていないとの指摘があり、学校及び町双方による発信強化の必要性が示されました。また、「高校に誇りを持てるストーリー作り」や「ポジティブなイメージ戦略の推進」を求める意見もありました。



(5) 教育・進路面での不安について

一部町民からは、「進学・就職の選択肢が限られる」「学力面で不安がある」といった声が聞かれました。都市部の高校との比較において、「進路情報や指導体制に差がある」「大学推薦枠が知られていない」との意見もあり、進路指導や学習支援体制の強化を望む声が一定数みられました。「長万部高校でも夢を実現できる」という具体的事例を示すことで、町民の理解と信頼を得る必要があると考えられます。

(6) 地域全体の課題意識について

高校の問題は学校単独では解決しがたく、町の活力や雇用環境、子育て環境の改善が不可欠との意見が多く寄せられました。「町に働く場所や魅力が少ない」「若者が残る理由がない」といった声があり、高校の魅力化と並行して、町全体の将来像を共有する必要性が強調されました。「高校存続は町の未来づくりと一体で考えるべき」との意見も複数見られました。

3 まとめ（総括）について

町民の意見を総合すると、長万部高校の課題は以下の三層構造で整理できます。

(1) 直接的課題：部活動の選択肢、人間関係、外への憧れ

(2) 間接的課題：広報不足、進路不安、学校イメージ

(3) 根本的課題：少子化、人口減少、地域活力の低下

多くの町民は「長万部高校が悪い」のではなく、「地域全体の構造的課題」として捉えており、学校と町が一体となった取組を求めています。

今後は、学校・町・地域住民が連携し、「選ばれる学校」「誇れる町」の実現に向けた方策を検討していくことが重要であると考えます。

【課題】 これからの長万部高校に対する町民意見

1 背景について

長万部高校は少子化や進学率低下により生徒数が減少しており、存続が危ぶまれています。町民からは高校の魅力向上や特色化に関する多様な意見が寄せられています。

2 課題について

- (1) 生徒数の減少と町外流出
- (2) 普通科のみで特色が乏しい
- (3) PR不足による認知度の低さ
- (4) 進学・就職支援の不十分さ

3 町民意見の分類について

以下は町民から寄せられた意見をテーマ別に整理したものです。

(1) 特色ある高校づくりについて

- ア IT・AI・動画制作・eスポーツ
- イ 水産・自然資源活用
- ウ 東京理科大との連携
- エ 部活動強化



(2) 進学・キャリア支援について

- ア 推薦枠拡充（理科大指定校のコ・デザへの変更を含む）
- イ 公設塾の新設及び東京理科大生による学習サポートの無償化
- ウ 資格取得（無償化や対象検定の拡大）

(3) 自由な校風について

- ア 髪色・服装自由
- イ 生徒主体の校則決定

(4) 町外・道外からの生徒確保について

- ア 寮の設置
- イ 地域みらい留学モデル

(5) 地域連携について

- ア 小中高連携の強化
- イ 企業・大学との協働

(6) ハード・ソフト面改善について

- ア 制服・給食・交通費補助
- イ ICT環境整備



これらを受け、みなさまの高校及び町への意見をまとめると次のとおりとなります。

(1) 高校の特色化
(IT教育、地域資源活用、理科大連携)

(2) 進学支援強化（推薦枠、学力向上施策）

(3) 校風改革（自由度向上、生徒主体）

(4) 町外生徒の受け入れ（寮、留学制度）

(5) 地域との一体化（イベント、探究学習）

(6) PR戦略の強化（SNS、メディア活用）

次号(12月号)においても、引き続き「令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会」で町民の方々からいただいたご意見をまとめた内容を特集号として掲載いたします。
どうぞ、お楽しみに！！

12月行事予定			
日	曜	行 事 計 画	給食
1	月		○
2	火		○
3	水		○
4	木	そば打ち体験（総合文化部、地域活動部）	○
5	金	成績単票提出日 Omp I ㉔㉕ワールドカフェ（1年5・6h総） Omo㉔㉕（3年6h総） 公務員説明会（役場&消防署）	○
6	土		
7	日		
8	月	成績一覧表提出日	○
9	火	中高合同職業説明会	○
10	水	進学相談会（1年函館）	○
11	木	成績会議 定時退勤日	○
12	金	Omp I ㉖（1年6h総） Omo㉖（3年6h総） 公務員説明会（海上保安庁&航空基地）	○
13	土		
14	日		
15	月		○
16	火	高校生による政策提言in長万部町議会、Ezo探究道南発表会	○
17	水	職員会議（定例） 定時退勤日	○
18	木	中学2年生対象説明会	○
19	金	Omp II ㉗（2年6h総） Omo㉗㉘（3年5・6h総）	○
20	土		
21	日		
22	月	大掃除 5分短縮授業	○
23	火	体育大会 全校集会 成績発送	○
24	水	冬季休業（～1/15）	
25	木	1年冬期講習（T-base） 3年冬期講習（T-base）	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	【学校閉庁日】	
30	火	【学校閉庁日】	
31	水	【学校閉庁日】	